

山下地区

山下地区別計画推進策定委員会

地域

西八朔町、北八朔町、小山町、青砥町

緑区の北側に、恩田川と鶴見川に挟まれた形で東西に長く位置し、地区の北西側は青葉区、北側は都筑区に隣接しています。市街化調整区域が多い田園地帯で、丘陵地に市営住宅や戸建の住宅が並んでいます。

山下地域交流センターや山下みどり台小学校コミュニティハウスが活動の拠点となっています。また、特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの福祉施設が多くあります。

<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）、青葉台駅、藤が丘駅（東急田園都市線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：山下小学校、山下みどり台小学校

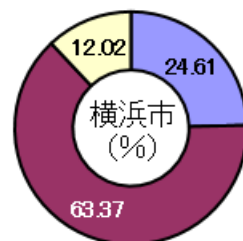
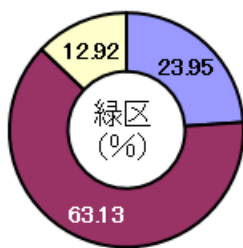
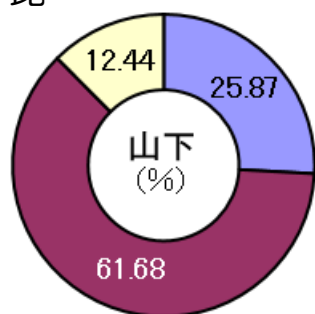
地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ、地域包括支援センターふじ寿か園

※令和3年4月1日から、地域包括支援センターふじ寿か園は横浜市山下地域ケアプラザに変更

<年齢区分別人口>

令和2年(2020年)9月末

人口比



75歳～	2,529人
65～74歳	1,779人
15～64歳	10,270人
6～14歳	1,267人
0～5歳	805人
合計	16,650人

75歳～	22,712人
65～74歳	20,888人
15～64歳	114,899人
6～14歳	14,744人
0～5歳	8,770人
合計	182,013人

75歳～	481,787人
65～74歳	443,753人
15～64歳	2,382,859人
6～14歳	282,869人
0～5歳	169,204人
合計	3,760,472人

山下地区 地区別計画

- 目標1 地域での「つながり」を大切に、健康で元気に暮らし続けられるまちづくり
 目標2 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり
 目標3 「防災・防犯」で安心・安全なまちづくり

～令和2年度の取組～

○ 生活支援ボランティア活動を継続中！

令和2年1月から本格稼働した生活支援ボランティアは、コロナ禍の中で感染防止対策を講じた上で継続して行っています。緊急事態宣言中は中止しましたが、夏の訪れとともに、枝切りや草むしり等多くの依頼があり、右の表に示したような作業を実施しました。令和2年4月～12月まで50件対応し、前年度の試行期間と同程度の依頼があり、地域の中の「チョットした困りごと」を支える取組を続けています。

依頼内容	実績
草取り	32件
枝切り	11件
電球交換	1件
部屋の清掃・片付け	2件
その他(雨樋掃除他)	4件
合計	50件

令和2年4月～12月の実績

○ 「山下地区安全・安心まちづくりプラン」を改定し、令和3年度からスタートします！

これまでの「まちづくりプラン」と「地域福祉保健計画」は個別の取組で進めてきましたが、まちづくりプランの改定に当たって両者を融合、抱える課題のうちハード面からの取組みを「まちづくりプラン」で、ソフト面からの取組みを「地域福祉保健計画」で取り上げることにしました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、思うように地域活動や行事を行うことができていませんが、「誰もが安全・安心を実感できる緑豊かなまちづくり」を目指して、出来ることから工夫しながら取組んでいます。



○ 山下連合だよりを3回発行、情報発信を進めています！

新型コロナウイルス感染防止のため行事や懇親会等が中止され話題に欠ける中、春、夏、新年の3回山下連合だよりを発行し、「新型コロナウイルス感染防止策」「山下地域ケアプラザ進捗状況」「まちづくりプラン改定」「ささえあいバス自主運行状況」「生活支援活動推進状況」などの情報や活動内容を会員に届けました。

○ 青パトによる防犯パトロール活動による「安全で安心なまちづくり」に注力！

防犯連絡員や女性防犯員の協力を得て、月5回青パトで防犯パトロールを実施。振り込み詐欺への注意喚起、児童の下校時の見守りなど、住民の皆さんに安全と安心を届ける活動をしています。また、山下防犯協会の指導の下、防犯カメラの設置も今年度は新たに二自治会で進みました。